

都市再生整備計画(第4回変更)

あきた えきしゅうへん
秋田駅周辺地区(第二期)
だい に き

あきた 秋田県 あきたし 秋田市

平成26年11月

都道府県名	秋田県	市町村名	秋田市	地区名	あきたえきしゅうへんらくだいにき 秋田駅周辺地区(第二期)	面積	74.4 ha	
計画期間	平成	22 年度 ~	平成	26 年度	交付期間	平成	22 年度 ~ 平成	26 年度

目標
 大目標: 駅東西の一体的整備と健全な市街地形成による、魅力的で活力あるまちづくり
 目標1 土地区画整理事業の推進により、健全な市街地の形成、市民の生活環境の向上を図り、減少傾向にある秋田駅周辺地区の居住人口の維持を図る。
 目標2 秋田拠点センターアルヴェを核として、駅周辺のにぎわい創出を促進する。
 目標3 駅周辺において、市民等が多目的に利用できる環境整備を図り、地域のエリアマネジメントへの取り組みを支援する。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ●秋田市は、秋田県の日本海沿岸地域の中央に位置し、秋田県の県都として、また北日本の中心都市として着実な発展を遂げ、平成9年には中核市に移行した。平成21年4月1日現在の人口は325,091人、世帯数は132,855世帯となっている。
 ●当地区の一部を含むJR秋田駅西側については、本市駅前の中心商業地として、商業・業務機能が集積している地域であるが、近年のモータリゼーションの進展、大型店の郊外進出等による中心市街地の空洞化が進んでいる。
 ●地域経済の低迷、地権者のノウハウや資金不足、土地の売却に対する抵抗感等を背景として、平面駐車場等の低未利用地が多数存在しており、その有効活用は進んでいない。
 ●JR秋田駅東側については、近年の土地区画整理事業等によって基盤整備や公共施設整備が進められてきているが、駅西側と比較すると、低未利用地が多い。また、駅北東区域においては、既存の農道や私道を利用した宅地で形成されており、公共施設の未整備とともに住宅地が無秩序に広がっている状況である。
 ●秋田市総合計画において、当地区は、県都の顔であり高次集積都市の中核を担う市中心部のにぎわいを創出するために整備を進める地区として位置づけられている。
 ●当地区は、平成20年7月に策定された「秋田市中心市街地活性化基本計画」の区域内に一部含まれており、同計画における「訪れる人による賑わいづくり」、「住む人による賑わいづくり」「商店街の活力による賑わいづくり」を目指して、核施設の整備とそれらを結ぶ歩行者軸の強化による活性化の方向が示されている。
 ●東西軸の整備については、平成9年3月の秋田駅の橋上化に合わせて「秋田駅東西連絡自由通路」が完成し、さらに平成12年7月には、駅西側大規模商業施設まで延伸されており、平成20年度に秋田駅東西歩道橋(Weロード)の自転車利用者のための施設整備が完成し、交流環境が整いつつある。
 ●核施設の整備については、当地区のリーディングプロジェクトとして、平成16年7月に、民間と公共の複合施設である「秋田拠点センターアルヴェ」が建設された。あわせて、秋田拠点センターアルヴェと秋田駅東西連絡自由通路とを結ぶ「駅東人工地盤」が整備された。また平成20年3月にアルヴェの東側隣接地には、NHK新秋田放送会館が移転し、放送が開始された。
 ●当地区のうち61.6haにおいて、3つの土地区画整理事業が行われ、平成17年度に完成した秋田駅東拠点地区10.3haのほか、秋田駅東第三地区、秋田駅西北地区が現在施行中である。

課題
第一期計画の成果、課題
 ●秋田駅東西歩道橋(Weロード)の自転車通行が可能となり、駅東西間の連続性が強化された。今後、自転車を利用しやすいまちにむけた各種施策を進め、低炭素型都市への転換を目指す。
 ●まちづくりにおける地域共通のキーワードとして、本市固有の地域資源である秋田杉に着目し、本市の玄関口である秋田駅西口広場バス停広場の修景整備を行った結果、県外に向けたイメージ戦略に役立ったほか、市民からも大変好評となっている。今後も地域の特色を活かした個性あるまちづくりの促進が必要である。
 ●秋田駅周辺に多数存在する低未利用地が地域イメージを損ねているばかりでなく、地価の下落等を引き起こす要因となっていたことから、低未利用地活用検討調査を実施し、その結果を踏まえ、中心市街地内の土地所有者や民間事業者に対するヒアリング等を実施した結果、ようやく事業の動きも始まってきている。
 ●駅西北および駅東区域については、土地区画整理事業の進捗に伴って行き止まりや狭隘道路が解消するとともに宅地の再配置が進んでおり、市街地の安全性、防災性が向上し、民間マンションの立地もみられるようになっている。第二期計画では、引き続き、効率的な事業推進に努めるとともに、地区住民との対話を一層密にし、地区内の生活環境の改善を図る必要がある。
 ●JR秋田駅、NHK秋田放送局、アルヴェが連携したイベント等を開催したほか、まちづくりの担い手育成講座を開設し、まちづくり活動体制の仕組みづくりを進めた。
 第二期計画では、アルヴェだけでなくとどまらず、秋田駅東西連絡自由通路(ぼぼろ一ど)や駅西側商業施設と連携したイベントの実施等、駅東西間の一体的な賑わい創出を図るほか、大規模商業施設に隣接した中通二丁目バス広場内の整備については、公共交通拠点とにぎわい拠点双方の機能を強化させるため、市民やNPO、事業者等と関係部局の連携により取り組んでいく。

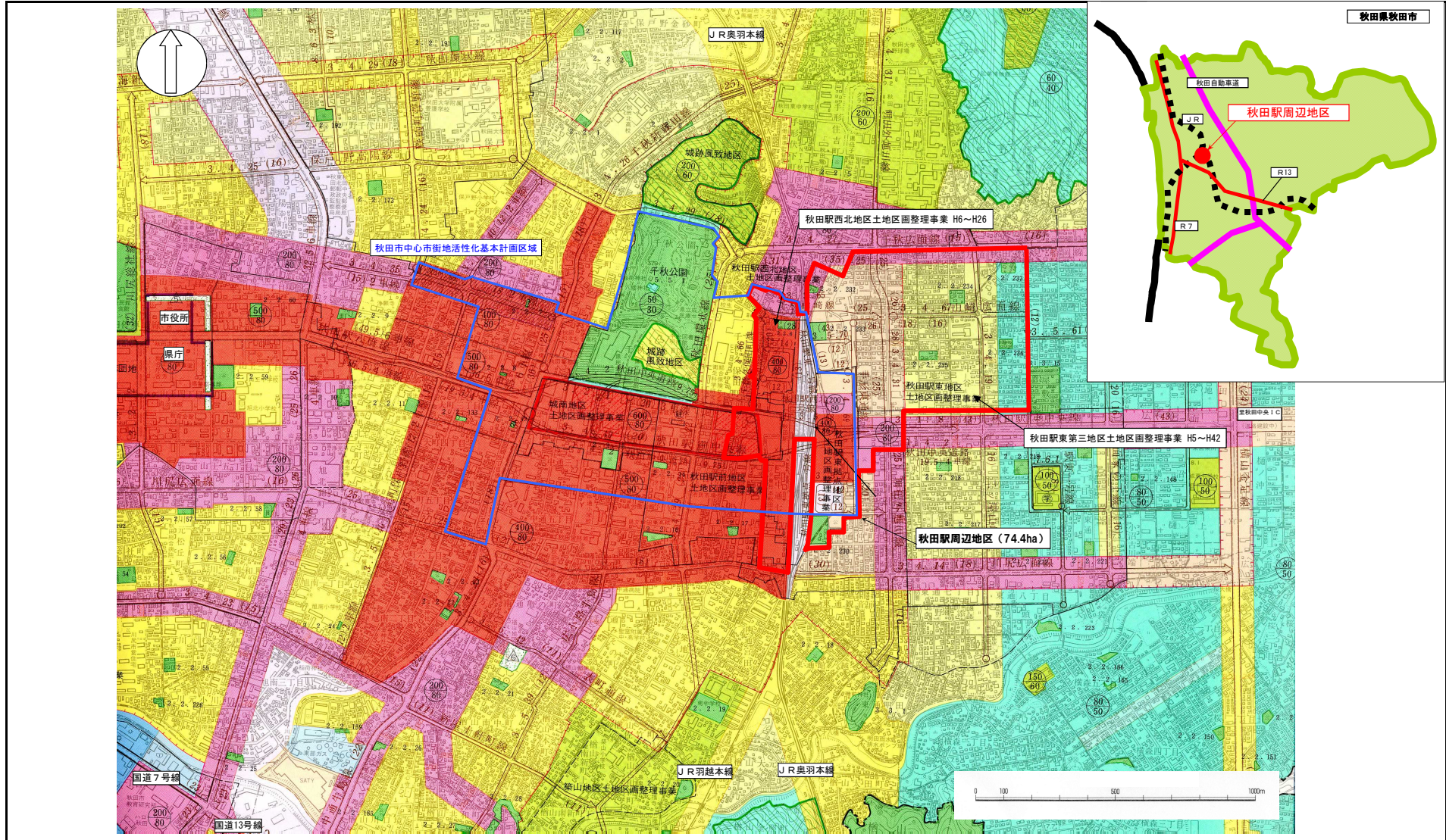
将来ビジョン(中長期)
 ●秋田市総合計画では、郊外への住宅地の拡大を抑制し、既存市街地へ人を引き寄せるまちづくりが必要であるとされ、その実現のため、当地区については、高次の都市機能を複合した都心軸を形成し、多様な都市機能が連携した、魅力的で活力ある市街地整備を促進する地区として位置づけられている。
 ●都市計画マスタープランでは、中心市街地においては、中心市街地活性化基本計画に基づき、都市機能の導入や市街地整備を推進するとともに、特に駅東地区については都心機能の導入を図り、また、土地区画整理事業の推進を図ることなどが位置づけられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 区画整理事業区域等の居住人口	人	土地区画整理事業区域を含む小字別住民基本台帳の人口数(各年11月1日現在値)の比較	行き止まり道路や狭隘道路の解消と宅地の再配置を進め、市街地の安全性、防災性の向上を図る。	4,730	平成21年度	4,730	平成26年度
2. 秋田駅東口の通行量	人/9h	ぼぼろ一ど東口の通行量(休日・9時間)の比較	アルヴェやぼぼろ一どなどで開催されるイベント等により、秋田駅東西間の一体的なにぎわいの創出を図る。	14,676	平成21年度	15,000	平成26年度
3. 拠点センターアルヴェの入館者数	万人	秋田拠点センターアルヴェの年間入館者数の比較	アルヴェやNHK、ぼぼろ一どなどで開催されるイベント等により、秋田駅東西間の一体的なにぎわいの創出を図る。	336	平成21年度	336	平成26年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針1(秋田駅東西間の交流促進) ・第一期計画により、駅東西間の交流促進を図ったところであり、駅東西の一体的整備にむけて、駅西北地区の高度な土地利用を誘導するため、その基盤整備となる土地区画整理事業を進める。 	方針に合致する主要な事業 土地区画整理事業(基幹事業／秋田駅西北地区) 街路事業(関連事業／千秋久保田町線)
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針2(健全な市街地形成と生活環境の向上) ・秋田駅東第三地区については、健全な市街地の形成を図るため、基盤整備となる土地区画整理事業を進める。 	土地区画整理事業(基幹事業／秋田駅東第三地区、秋田駅西北地区) 街路事業(関連事業／明田外旭川線、千秋久保田町線)
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針3(アルヴェと西口再開発エリア施設との連携による駅周辺の賑わい創出) ・アルヴェを拠点として、まちづくり意識への関心を高めるため様々な取り組みを行い、まちづくりの担い手となる人材の育成をめざす。 ・秋田市中通二丁目バス停広場について、公共交通の利便性の向上を図るほか、多目的空間として活用することにより、地区内の商業施設の活性化や駅東西間の交流機能の強化を図る。 	高質空間形成施設(基幹事業／中通二丁目バス停広場にぎわい再生事業) まちづくり活動推進事業(提案事業／まちづくり市民活動育成・支援事業)
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動について 秋田駅周辺地区のまちづくりに関するフォーラムの開催や、まちづくりの担い手育成講座の開設、ワークショップ、研修会、意見交換などを引き続き実施し、まちづくりに対する意識の高揚と市民活動の育成を図る。 ○まちづくり交付金事業(第二期)による整備について 当地区は、県都の顔であり、平成5年度から実施した都市拠点総合整備事業、平成12年度から17年度まちづくり総合支援事業、平成17年度から21年度までまちづくり交付金事業と、継続的に整備を行ってきた地区である。 当地区の交流機能を強化することにより、アクセシビリティを一層向上させ、活力あるまちづくりを実現するほか、駅周辺の居住環境の向上させるため、秋田駅東第三地区、秋田駅西北地区の土地区画整理事業の整備を推進し、居住人口の増加を図る。 	

<p>秋田駅周辺地区第二期(秋田県秋田市)</p>	<p>面積 74.4 ha</p>	<p>区域 中通二丁目、中通七丁目、千秋久保田町、千秋城下町、手形新栄町、手形字山崎、手形字西谷地、手形字中谷地、手形字十七流、広面字屋敷田、広面字高田、東通仲町</p>
---------------------------	-------------------	---



秋田駅周辺地区第二期(秋田県秋田市) 整備方針概要図

目標	駅東西間の一体的整備と健全な市街地形成による、魅力的で活力ある交流拠点を目指したまちづくり	代表的な指標	区画整理区域等の居住人口 (人)	4,730	(H21年度)	→	4,730	(H26年度)
			秋田駅東口の歩行者通行量 (人/9h)	14,676	(H21年度)	→	15,000	(H26年度)
			拠点センターアルヴェの入館者数 (万人/年)	336	(H21年度)	→	336	(H26年度)

